

様式第2号（第8条関係）

身 上 調 書																
職 業 部 門 ・ 職 業 分 類			職 種 (1)			職 種 (2)										
1 - 1			(1) 製銑工、製鋼工			(1) 製銑工										
ふりがな 氏 名		あおもり たろう		職 歴	在職期間			在職年月数			重複を除く 年月数					
		青森 太郎			年 月 日	年 月										
生 年 月 日		昭和39年5月5日			自 昭和58 4 15	至 平成5 3 31	10 0									
本 籍		〇〇県〇〇郡〇〇町 大字〇〇字〇〇 〇〇番地〇〇			自 平成5 4 1	至 平成11 3 15	5 11 半									
現 住 所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 青森市大字〇〇字〇〇 〇〇番地〇〇 ☎ (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇			自 平成11 3 16	至 令和7 6 30	26 3 半									
就 業 先	事業所名	〇〇電子株式会社 〇〇工場		〇〇電子(株) に電子機器 組立工とし て入社 同上の電子 機器組立工 主任 同上の電子 機器組立作 業長												
	所 在 地	青森市〇〇一丁目〇番〇号 ☎ (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇														
表 彰 ・ 入 賞 歴	(1) 平成〇〇年〇月〇日 〇〇用シリコン整流器の考案により〇〇から 理事長表彰										免 許 ・ 資 格 等	免許・資格等名			取得年月日	
	(2) 昭和〇〇年〇月〇日 技能五輪全国大会出場 銀賞											技能検定 (1級電子機器 組立技能士)			昭和 59. 10. 1	
												(1級配電盤組 立技能士)			昭和 60. 10. 1	
						職業訓練指導員 (電子科)			昭和 61. 4. 1							

様式第3号（第8条関係）

事 績 調 書			
職種番号	職種名(2)	ふりがな 氏 名	あおもり たろう
1 - 1 - (1)	(1) 製銑工		青森 太郎
候補者の概要			
第一人者であること又は将来性について（規則第5条第1項第2号関係） 例1. 配電盤・制御板組立をはじめとする電子機器組立に関する技能に卓越し、自ら新しい組立技能を生み出すなど、市内では第一人者である。 例2. ○○工場の中堅リーダーとして、若手技能者の育成に尽力し、技能の優秀さのみならずその指導力の高さからも他の模範的技能者として将来を嘱望されている。			
技能の卓越度について（規則第5条第1項第3号関係） 例1. ○○用シリコン整流器の製作はシリコンスタック組立技能がポイントとなる。当人はセレン整流スタック組立の技能を修練し、その経験と研究の中からシリコン固定加圧方法とねじ締め方法によるシリコンスタック組立技能を生み出した。○○に使用されているシリコンスタックはその技能が基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。 例2. 1級電子機器組立技能士の資格を有し、技能五輪全国大会電子機器組立て部門で銀賞を受賞するなど、電子機器組立の技能の卓越度は全国トップレベルである。			
技能者の育成又は生産性向上・産業振興への寄与について（規則第5条第1項第4号関係） 例1. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに○名を全国大会に出場させ、1位○名の成績を獲得させる等、高い指導能力を発揮した。 例2. △△工程における□□の改良により、安全性・生産効率とも向上し、年間約480万円のコストダウンを実現した。			
模範性について（規則第5条第1項第5号関係） 例1. 自分の経験と技能をもとに、若い技能者に対して積極的に指導するなどの活動を行うとともに、自らも技能資格をとる努力をしており、このような姿勢は、他の技能者の模範となっている。 例2. 積極的に講義や実演をしており、業界全体の発展に尽力している。			
その他特筆すべき事項 例1. △△の生涯学習講座○○の技術指導員を行ったこともある。			
推薦団体	(所在地) ○○市○○二丁目○番○号 ☎ (○○○) ○○○-○○○○ (団体名) 社団法人 ○○県電気・電子機器連盟 理事長 青森 一郎		

1 欄内に書ききれない場合は、別紙で補足してください。

2 事績を確認できる参考資料及び補足資料（大会の順位が確認できるもの等）を添付してください。